

つちおと

いよいよ…

南三陸町で災害公営住宅事業への着手を祝うとともに、工事の安全を願って着工式が挙行されました。式では、入谷・名足両地区の事業概要、いずれも平成26年夏の入居を予定していることが説明されました。いよいよ、被災地に本格的な『つちおと』が響き渡ります。



佐藤仁南三陸町長ならびに来賓・関係者による「鍬入れ」のようす

◆昨年の2月10日は、当気仙沼支所開所の日でありました。開所以来、市町の担当の方々を覚え、現場と地名を覚え、被災された方々の声を伺いながら駆け足で過ぎた1年でした。その間、気仙沼市、南三陸町において進められてきた復興事業の準備が着々と進み、事業着工式へのご案内が相次いでいます。賑やかな春になりそうです。

◆2月9日、安倍総理大臣が気仙沼市を視察されました。気仙沼漁協さんの製氷工場において、作業の一部をご覧になるとともに、屋上から南気仙沼地区を望みながら、復興についてのご説明に耳を傾けられました。この視察には、根本復興大臣、小野寺防衛大臣も同行されました。寒風のなか、たくさんの方が出迎え、車を降りた総理は待ち受ける市民のもとへ歩み寄り、労いの声をかけるなど被災者を激励する姿が印象的でした。(2面に関連記事)



たくさんのお出迎えに応える安倍総理大臣一行

◆2月14日、主要地方道気仙沼唐桑線もとまち『本町橋架換工事』の完了を祝い、開通式が挙行されました。気仙沼市田谷にある旧橋は、昭和9年から70年以上利用されてきましたが、老朽化、強度不足から宮城県では平成14年度に架換事業に着手し、橋を含む400m区間の整備を進めてきました。復興への貢献が期待されます。



開通式に花を添えた気仙沼人力車木遣会

◆もうすぐ3月。あの震災から間もなく2年。国や被災自治体では、追悼式が予定されています。あの記憶を風化させないように、国民が震災を見つめ直す機会になればと祈ります。(山)

2月9日 総理大臣の気仙沼訪問

安倍総理大臣は、東日本大震災による復興状況を把握するため、岩手県陸前高田市、岩手県大船渡市及び宮城県気仙沼市を訪問しました。

気仙沼市では、根本復興大臣、小野寺防衛大臣、谷復興副大臣、秋葉厚生労働副大臣兼復興副大臣などとともに、気仙沼漁業協同組合の製氷工場を訪問しました。

製氷工場では、気仙沼漁業協同組合の佐藤組合長から施設等について、菅原市長から復興状況について説明が行われました。

*写真は、佐藤組合長からの説明を受ける安倍総理大臣（左から2人目）、根本復興大臣（左手前）など。



2月13日 地域復興マッチング「結(ゆい)の場(ば)」の開催

被災地域の企業が抱える、自らの努力や既存制度の活用のみでは解決できない様々な課題（支援ニーズ）を解決するために、大手企業等の有する豊富な経営資源（ヒト・モノ・情報・ノウハウ等：支援シーズ）を活用できるよう、両者が対話する場として「地域復興マッチング『結の場』」が、気仙沼商工会議所及び復興庁宮城復興局の主催により、平成25年2月13日に気仙沼市魚市場3階会議室で開催されました。

当日は、被災地域企業10社、支援企業33社が参加し、午前には現地視察、午後には気仙沼の水産加工業復興に向けた対話（ワークショップ等）や交流会が行われました。



*写真はワークショップの様子。



*交流会では、被災地域企業の商品の紹介を兼ねた試食が行われました。



復興関連予算の御紹介

先月閣議決定された
予算を御紹介します。

ここでは、平成25年1月15日に閣議決定がなされた平成24年度補正予算を紹介します。

東日本大震災復興特別会計 平成24年度補正予算総額 3,177億円

(主な内容)

(1) まちの復旧・復興 (1,970億円)

・震災復興特別交付税の増額 (1,214億円)

津波による被災地域における住民の定着促進を通じた地域の復興及び復旧・復興事業の追加に伴う地方負担分の増額。

・社会資本整備総合交付金(復興)による道路整備等(60億円)

津波により壊滅的な被害を受けた地域等において、復興計画に位置付けられた復興計画エリア相互を結ぶ道路整備等を支援。

・復興道路・復興支援道路等の整備(5億円)

被災地の早期復興を図るため、復興道路・復興支援道路等の整備を推進。

(2) 産業の振興・雇用の確保(502億円)

・震災等緊急雇用対応事業(500億円)

被災者の一時的な雇用の確保、生活の安定を図るため、震災等緊急雇用対応事業について、緊急雇用創出事業基金を積み増し、事業の実施期限を一年延長。

・東北地域における旅行需要創出事業(2億円)

東日本大震災で多大な津波被害を受けた東北地域の太平洋沿岸エリア及び福島県において、旅行需要の喚起を図るため、現状の正確な情報や魅力の発信強化等を推進。

(3) 原子力災害からの復興・再生(706億円)

・福島原子力災害避難区域等帰還・再生加速事業 208億円

福島県の被災12市町村における避難解除区域の住民の帰還を加速するための取組や直ちに帰還できない区域への将来の帰還に向けた荒廃抑制・保全対策を推進。

・福島県環境創造センター(仮称)整備事業(113億円)

放射性物質の環境中の動態解明、放射性物質汚染廃棄物・土壌等の処理・処分技術の評価・開発等、さらなる研究開発の推進を通じて、福島において子どもや親たちをはじめとする住民が安全に安心して生活する環境を回復するために、福島復興再生基本方針に基づいて、福島県が設置する「福島県環境創造センター(仮称)」の整備を支援。

*四捨五入等の都合から合計とは一致しない場合があります。

復興関連事業の現場

復興関連事業の現場を
写真とともに御紹介します。

今回は、南三陸町災害公営住宅整備事業着工式の様子をお知らせします。

南三陸町では、被災された方々の生活再建に向けては、恒久的な住宅の早期確保が重要課題となっているところ、宮城県、独立行政法人都市再生機構、南三陸町木造災害公営住宅建設推進協議会とともに災害公営住宅の整備を進めています。

そして、南三陸町として初めての災害公営住宅の工事着手として、平成25年2月14日に南三陸町災害公営住宅整備事業着工式が、佐藤南三陸町長、後藤南三陸町議会議長、地権者等の出席の下で行われました。

なお、今回着工する2地区については、入谷地区が51戸、名足地区が33戸、入居開始はともに平成26年夏をそれぞれ予定しています。



(着工式で紹介された入谷地区 (着工式資料から引用))

ナンプレにチャレンジ！！

	9	5		8		4	
		4	9		7	5	
	3						9
		2		9		4	
9	4			3			2 8
	6	9				3	7
	1		7		4		8
	7		3		9		5

ルール

- ・9マスごとの縦の列と横の列にそれぞれ1から9の数字が1つずつ入ります。
- ・太枠で囲まれた9マス(縦3マス、横3マス)にそれぞれ1から9の数字が1つずつ入ります。

【編集後記】

◆路面の凍結や積雪のため、毎日の通勤に悪戦苦闘しています。皆様も運転の際は、余裕を持った運転を心掛け、くれぐれもお気を付け下さい。
(前号のナンプレの回答)

6	5	4	7	9	1	8	3	2
1	7	9	2	3	8	6	4	5
3	2	8	5	4	6	7	9	1
4	3	7	8	1	2	9	5	6
8	1	2	6	5	9	3	7	4
5	9	6	3	7	4	1	2	8
7	8	1	9	2	5	4	6	3
2	4	3	1	6	7	5	8	9
9	6	5	4	8	3	2	1	7



福寿草 (ふくじゅそう)
キンポウゲ科の多年草
花言葉は「幸福」「幸せを招く」など
春を告げる花の代表で元日草(がんじつそう)や朔日草(ついたちそう)の別名を持つ。



薔の臺 (ふきのとう)
キク科。フキ(薔)の若い花茎
花言葉は「待望」「仲間」など
春の味覚として、香りと苦みを賞味する。

「つちおと」がホームページから御覧いただけようになりました！

URLは、
<http://www.reconstruction.go.jp/topics/001177.html>

または、①復興庁ホームページ→②宮城復興局→③気仙沼支所だより「つちおと」にお進みください。

「つちおと」発行元 (お問い合わせ先)

復興庁 宮城復興局 気仙沼支所
電話 0226-23-5301
FAX 0226-23-5310

復興庁ホームページ
<http://www.reconstruction.go.jp/>